



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月29日

上場会社名 川崎重工業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7012 URL <https://www.khi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 橋本 康彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 星野 達生 (TEL) (03) 3435-2130
 四半期報告書提出予定日 2020年11月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	657,325	△10.8	△21,883	—	△18,286	—	△27,267	—
2020年3月期第2四半期	736,565	7.0	8,678	2.6	830	300.6	△3,733	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △29,870百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 △7,763百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△163.23	—
2020年3月期第2四半期	△22.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,978,868	441,236	21.5
2020年3月期	1,957,845	471,562	23.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 425,490百万円 2020年3月期 455,627百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	35.00	—	0.00	35.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めています。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,500,000	△8.6	△20,000	—	△25,000	—	△27,000	—	△161.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.12「2. (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期2Q	167,080,532株	2020年3月期	167,080,532株
2021年3月期2Q	37,248株	2020年3月期	36,587株
2021年3月期2Q	167,043,632株	2020年3月期2Q	167,044,988株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記載等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、その達成を当社としては約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想と異なる結果となることがあります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手について)

当社は、2020年10月29日(木)に、機関投資家・アナリスト・マスコミ向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する四半期決算説明資料につきましては、決算発表と同時にT D n e t 及び当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	12
(四半期連結貸借対照表関係)	12
(四半期連結損益計算書関係)	12
(セグメント情報)	13
3. 2021年3月期 連結業績見通し補足資料	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルスの感染拡大による経済への影響は、国内外での経済活動の再開や各国政府による財政政策等により徐々に緩和されつつあります。一方、感染収束の見通しは未だ立っておらず、政策効果の息切れや、企業業績の悪化、設備投資の抑制、雇用環境の悪化、個人消費の停滞等も懸念され、今後の実体経済の先行きは不透明な状況です。

これに加え、米中関係の悪化により、世界経済の不確実性は一層高まりを増していることから、米中関係の動向には引き続き注視が必要です。

このような経営環境の中で、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結受注高は、航空宇宙システム事業、エネルギー・環境プラント事業を中心に減少となりました。連結売上高については、車両事業などが増収となる一方で、航空宇宙システム事業、モーターサイクル&エンジン事業などが減収となったことにより、全体では前年同期比で減収となりました。利益面に関しては、営業損益は車両事業の改善があったものの、航空宇宙システム事業での悪化などにより、減益となりました。経常損益は、為替差損益の好転や民間航空エンジンの運航上の問題に係る引当金戻入益の計上はあったものの、営業損益の減益により減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は、固定資産売却益の特別利益への計上はあったものの、経常損益の減益に加え、固定資産の減損損失の特別損失への計上や繰延税金資産の一部取崩しを行ったことにより、減益となりました。

この結果、当社グループの連結受注高は前年同期比1,551億円減少の5,022億円、連結売上高は前年同期比792億円減収の6,573億円、営業損益は前年同期比305億円悪化して218億円の損失、経常損益は前年同期比191億円悪化して182億円の損失、親会社株主に帰属する四半期純損益は前年同期比235億円悪化して272億円の損失となりました。

当第2四半期連結累計期間の連結セグメント別業績の概要は以下のとおりです。

(単位：億円)

報告セグメント	前第2四半期 連結累計期間 (2019年9月期)		当第2四半期 連結累計期間 (2020年9月期)		増 減		(参考)受注高			
	売上高	営業 損益	売上高	営業 損益	売上高	営業 損益	前第2 四半期 連結 累計期間	当第2 四半期 連結 累計期間	増 減	
航空宇宙システム	2,508	97	1,685	△238	△823	△335	1,587	724	△862	
エネルギー・環境 プラント	956	50	1,045	44	89	△6	1,240	958	△281	
精密機械・ロボッ ト	982	32	990	34	8	2	1,046	1,024	△21	
船舶海洋	371	△14	382	△14	11	0	265	225	△39	
車両	593	△43	691	△1	98	41	391	303	△87	
モーターサイクル &エンジン (注) 2	1,472	△33	1,397	△51	△74	△18	1,472	1,397	△74	
その他	481	8	379	△1	△102	△10	570	386	△183	
調整額	—	△9	—	11	—	20	—	—	—	
合 計	7,365	86	6,573	△218	△792	△305	6,573	5,022	△1,551	

(注) 1 売上高は、外部顧客に対する売上高です。

2 モーターサイクル&エンジン事業については、主として見込み生産を行っていることから、受注高について売上高と同額として表示しています。

航空宇宙システム事業

航空宇宙システム事業を取り巻く経営環境は、防衛省向けについては厳しい防衛予算の中で概ね安定した需要が存在しています。民間航空機については、新型コロナウイルスの感染拡大により世界の旅客需要が低迷しており、機体・エンジンともに需要が低下しています。

このような経営環境の中で、連結受注高は、民間航空機向け分担製造品や民間航空エンジン分担製造品が減少したことにより、前年同期に比べ862億円減少の724億円となりました。

連結売上高は、防衛省向けや民間航空機向け分担製造品、民間航空エンジン分担製造品が減少したことにより、前年同期に比べ823億円減収の1,685億円となりました。

営業損益は、減収などにより、前年同期に比べ335億円悪化して238億円の営業損失となりました。

エネルギー・環境プラント事業

エネルギー・環境プラント事業を取り巻く経営環境は、国内ではごみ焼却プラント等において老朽化設備の更新需要が継続しているほか、中長期的には国内外の分散型電源需要、及び新興国におけるエネルギーインフラ整備需要が根強い状況にあります。一方で、新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の停滞や資源価格の不安定化により、顧客の短期的な設備投資判断が見直されるなど、不透明な状況が継続しています。

このような経営環境の中で、連結受注高は、国内向けごみ処理施設の大規模改修工事やエネルギー事業での大口案件の受注があった前年同期に比べ281億円減少の958億円となりました。

連結売上高は、国内向けごみ処理施設案件の工事量増加や国内向けガスタービンコンバインドサイクル発電プラントの売上増加などにより、前年同期に比べ89億円増収の1,045億円となりました。

営業利益は、増収があったものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響による操業差損の発生などにより、前年同期に比べ6億円減益の44億円となりました。

精密機械・ロボット事業

精密機械・ロボット事業を取り巻く経営環境は、精密機械分野では、中国建設機械市場が新型コロナウイルス感染拡大の影響からいち早く回復しており、当社の中国市場向け販売も、昨年度を上回る状況にあります。一方、中国以外の地域における建設機械市場は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による市場の停滞により、需要が大幅に減少しました。足元では、中国以外の地域においても建設機械需要回復の兆しが見えつつありますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、先行き不透明な状況が継続しています。ロボット分野では、汎用ロボットは、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受け案件の期ずれがあるものの、回復が早かった中国市場で堅調に推移しており、半導体向けロボットについても、米中摩擦の影響による不透明感は強まっているものの、足元では堅調に推移しており、中長期的にも需要は着実に拡大していくことが見込まれます。

このような経営環境の中で、連結受注高は、半導体向けロボットの増加はあったものの、建設機械市場向け油圧機器の減少により、前年同期に比べ21億円減少の1,024億円となりました。

連結売上高は、半導体向けロボットの増加はあったものの、建設機械市場向け油圧機器の減少により、前年同期並みの990億円となりました。

営業利益は、前年同期並みの34億円となりました。

船舶海洋事業

船舶海洋事業を取り巻く経営環境は、環境規制強化に伴うガス燃料推進船需要が顕在化する一方で、海運マーケットの長期低迷、新型コロナウイルスの感染拡大による商談の停滞などにより、依然として厳しい状況にあります。

このような経営環境の中で、連結受注高は、LPG運搬船の受注の減少により前年同期に比べ39億円減少の225億円となりました。

連結売上高は、新造船の工事量減少はあったものの、修繕船の売上増加などにより、前年同期に比べ11億円増収の382億円となりました。

営業損益は、修繕船の売上増加はあったものの、新造船の工事量減少や操業差損の発生などにより、前年同期並みの14億円の営業損失となりました。

車両事業

車両事業を取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により国内では鉄道関連投資計画の見直し、海外では工程の遅れや入札の延期・中止等が現実となりつつありますが、中長期的には、人口集中による大都市の混雑緩和や環境対策のための都市交通整備、アジア諸国の経済発展に伴う鉄道インフラニーズなど、今後も世界的に比較的安定した成長が見込まれます。

このような経営環境の中で、連結受注高は、新幹線車両の受注があったものの、国内私鉄・公営鉄道向けの大口案件の受注があった前年同期に比べ87億円減少の303億円となりました。

連結売上高は、国内向け車両が増加したことなどにより、前年同期に比べ98億円増収の691億円となりました。

営業損益は、新型コロナウイルス感染拡大の影響などによる海外案件の採算悪化はあったものの、増収により、前年同期に比べ41億円改善して1億円の営業損失となりました。

モーターサイクル&エンジン事業

モーターサイクル&エンジン事業を取り巻く経営環境は、主要市場である欧米や東南アジアで新型コロナウイルスの感染が拡大し市場が大きな影響を受けました。足元の小売販売は、米国市場はオフロードモデルに対する需要の高まり等により前年度を上回る水準となり、また欧州市場も前年度並の水準まで回復しています。一方、新興国市場は依然として低迷し、前年度を下回る水準が続いています。

このような経営環境の中で、連結売上高は、新興国向け二輪車が大きく減少したことなどにより、前年同期に比べ74億円減収の1,397億円となりました。

営業損益は、減収に加え、対米ドルや対新興国通貨などで前年同期に比べ為替レートが円高で推移したことなどにより、前年同期に比べ18億円悪化して51億円の営業損失となりました。

その他事業

連結売上高は、前年同期に比べ102億円減収の379億円となりました。

営業利益は、前年同期に比べ10億円悪化して1億円の営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は、現金及び預金の増加などにより前期末比422億円増加し、1兆3,009億円となりました。

固定資産は、有形固定資産の償却による減少などにより前期末比211億円減少し、6,778億円となりました。

この結果、総資産は前期末比210億円増加の1兆9,788億円となりました。

②負債

有利子負債は、前期末比1,619億円増加の7,294億円となりました。

負債全体では、有利子負債の増加などにより前期末比513億円増加の1兆5,376億円となりました。

③純資産

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上などにより、前期末比303億円減少の4,412億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、連結売上高及び連結営業利益ともに前回から改善し、連結売上高1兆5,000億円、連結営業利益200億円の損失となる見通しです。

また、連結経常利益250億円の損失、親会社株主に帰属する当期純利益270億円の損失、ROICは△2.2%、ROEは△6.1%、連結受注高は1兆3,400億円となる見通しです。

本業績予想における為替レートは、1ドル=106円、1ユーロ=123円を前提としています。

なお、詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正について」をご参照下さい。

(業績等の予想に関する注意事項)

上記の業績見通しは、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境及び内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、税制や諸制度などがあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	106,108	153,188
受取手形及び売掛金	473,204	434,995
商品及び製品	75,042	56,325
仕掛品	426,256	462,667
原材料及び貯蔵品	130,359	140,368
その他	51,176	56,848
貸倒引当金	△3,367	△3,408
流動資産合計	1,258,781	1,300,985
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	193,931	174,944
その他	288,639	291,183
有形固定資産合計	482,570	466,128
無形固定資産		
	21,358	22,248
投資その他の資産		
その他	196,973	191,124
貸倒引当金	△1,838	△1,618
投資その他の資産合計	195,134	189,506
固定資産合計	699,063	677,883
資産合計	1,957,845	1,978,868
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	261,159	205,560
電子記録債務	110,526	98,356
短期借入金	166,188	181,698
未払法人税等	6,116	4,815
販売促進引当金	12,174	6,510
賞与引当金	22,032	18,364
保証工事引当金	14,454	12,406
受注工事損失引当金	11,464	12,553
前受金	148,610	139,076
その他	194,998	274,181
流動負債合計	947,726	953,524
固定負債		
社債	160,000	190,000
長期借入金	188,859	196,758
退職給付に係る負債	129,846	133,522
民間航空エンジンの運航上の問題に係る引当金	※1 15,689	※1 10,550
その他	44,161	53,276
固定負債合計	538,556	584,107
負債合計	1,486,283	1,537,632

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	104,484	104,484
資本剰余金	54,542	54,542
利益剰余金	326,626	299,359
自己株式	△133	△134
株主資本合計	485,520	458,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,636	1,188
繰延ヘッジ損益	△272	171
為替換算調整勘定	△11,311	△15,212
退職給付に係る調整累計額	△19,946	△18,908
その他の包括利益累計額合計	△29,892	△32,761
非支配株主持分	15,934	15,745
純資産合計	471,562	441,236
負債純資産合計	1,957,845	1,978,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	736,565	657,325
売上原価	629,707	588,959
売上総利益	106,857	68,366
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	27,384	27,475
研究開発費	23,739	19,041
その他	47,055	43,732
販売費及び一般管理費合計	98,179	90,249
営業利益又は営業損失(△)	8,678	△21,883
営業外収益		
受取利息	314	265
受取配当金	180	150
持分法による投資利益	924	590
為替差益	—	1,791
民間航空エンジンの運航上の問題に係る引当金 戻入益	—	*1 3,005
その他	1,473	2,573
営業外収益合計	2,893	8,376
営業外費用		
支払利息	1,860	1,955
為替差損	5,772	—
民間航空エンジンの運航上の問題に係る負担金	*1 1,157	—
その他	1,951	2,824
営業外費用合計	10,741	4,780
経常利益又は経常損失(△)	830	△18,286
特別利益		
固定資産売却益	*2 1,277	*2 3,236
関係会社株式売却益	—	*3 1,581
特別利益合計	1,277	4,817
特別損失		
減損損失	—	*4 3,916
特別損失合計	—	3,916
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	2,107	△17,385
法人税等	5,122	9,454
四半期純損失(△)	△3,015	△26,840
非支配株主に帰属する四半期純利益	718	426
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,733	△27,267

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△3,015	△26,840
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△212	△396
繰延ヘッジ損益	123	427
為替換算調整勘定	△4,014	△2,202
退職給付に係る調整額	1,353	1,038
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,997	△1,898
その他の包括利益合計	△4,748	△3,030
四半期包括利益	△7,763	△29,870
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,054	△30,137
非支配株主に係る四半期包括利益	291	267

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,107	△17,385
減価償却費	30,133	30,223
減損損失	—	3,916
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△206	△134
販売促進引当金の増減額(△は減少)	5,335	△5,621
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,356	△3,617
保証工事引当金の増減額(△は減少)	△1,168	△1,986
受注工事損失引当金の増減額(△は減少)	△9,864	1,109
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,833	5,596
民間航空エンジンの運航上の問題に係る引当金の増減額(△は減少)	△1,478	△5,139
受取利息及び受取配当金	△495	△415
支払利息	1,860	1,955
持分法による投資損益(△は益)	△924	△590
固定資産売却損益(△は益)	△1,277	△3,236
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△1,581
売上債権の増減額(△は増加)	△93,246	41,030
たな卸資産の増減額(△は増加)	△42,352	△30,368
仕入債務の増減額(△は減少)	△49,292	△65,822
前渡金の増減額(△は増加)	△4,739	△3,915
前受金の増減額(△は減少)	△20,308	△7,650
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△10,547	△142
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△44,466	△24,761
その他	561	△5,471
小計	△238,893	△94,008
利息及び配当金の受取額	722	1,556
利息の支払額	△1,863	△1,874
法人税等の支払額	△9,456	△6,430
営業活動によるキャッシュ・フロー	△249,491	△100,757
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△33,242	△29,746
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,509	13,739
投資有価証券の取得による支出	△439	△474
投資有価証券の売却による収入	458	1,326
関係会社株式の取得による支出	△2,931	△82
関係会社株式の売却による収入	—	1,927
その他	1,614	△357
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,030	△13,668

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	250,750	103,128
長期借入れによる収入	19,000	20,900
長期借入金の返済による支出	△23,112	△10,587
社債の発行による収入	20,000	60,000
社債の償還による支出	△10,000	△20,000
配当金の支払額	△5,863	△36
非支配株主への配当金の支払額	△503	△531
セール・アンド・リースバックによる収入	—	10,014
その他	△289	△1,644
財務活動によるキャッシュ・フロー	249,981	161,243
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,401	31
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△30,139	46,848
現金及び現金同等物の期首残高	68,311	102,546
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,172	149,395

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しています。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 民間航空エンジンの運航上の問題に係る引当金

当社がリスク&レベニューシェアリングパートナー（RRSP）方式で参画しているロールス・ロイス社製ボーイング787用Trent1000エンジンプログラムは運航上重要な問題が発生しており、現在、ロールス・ロイス社が状況改善に向けて対応を進めています。これら運航上の問題に係る費用に関して、当社がプログラム参画メンバーとして負担すると見込まれる金額を、引当金へ計上しています。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 民間航空エンジンの運航上の問題に係る引当金戻入益・民間航空エンジンの運航上の問題に係る負担金

当社がリスク&レベニューシェアリングパートナー（RRSP）方式で参画しているロールス・ロイス社製ボーイング787用Trent1000エンジンプログラムは運航上重要な問題が発生しており、現在、ロールス・ロイス社が状況改善に向けて対応を進めています。これら運航上の問題に係る費用に関して、当社がプログラム参画メンバーとして負担すると見込まれる金額の増加額を営業外費用へ、減少額を営業外収益へ計上しています。

※2 固定資産売却益

前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

寮・社宅の跡地の売却によるものです。

当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

当社及び当社子会社の寮・社宅売却によるものです。

※3 関係会社株式売却益

当社子会社の関係会社株式売却によるものです。

※4 減損損失

当社船舶海洋カンパニーの坂出工場に係る資産について、現在の市場環境を前提に収益性が低下したことに伴うものです。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	航空宇宙 システム	エネルギ ー・ 環境プラ ント	精密機 械・ロボ ット	船舶海洋	車両	モーター サイクル &エンジ ン	その他 事業	報告 セグメント 計	調整額 (注1)	連結
売上高										
(1) 外部顧客への 売上高	250,896	95,609	98,219	37,130	59,306	147,235	48,167	736,565	—	736,565
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	4,194	17,421	7,246	4,803	9	324	18,376	52,376	△52,376	—
計	255,090	113,031	105,465	41,933	59,316	147,560	66,543	788,941	△52,376	736,565
セグメント利益又は 損失(△)	9,704	5,052	3,211	△1,476	△4,367	△3,368	871	9,627	△948	8,678

(注) 1 調整額の内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

利益	金額
セグメント間取引消去	99
全社費用(注)	△1,047
合計	△948

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	航空宇宙システム	エネルギー・環境プラント	精密機械・ロボット	船舶海洋	車両	モーターサイクル&エンジン	その他事業	報告セグメント計	調整額(注1)	連結
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	168,595	104,580	99,020	38,248	69,194	139,784	37,901	657,325	—	657,325
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,048	9,707	5,972	1,880	4	298	18,799	39,711	△39,711	—
計	171,643	114,288	104,993	40,128	69,199	140,083	56,701	697,037	△39,711	657,325
セグメント利益又は損失(△)	△23,865	4,413	3,412	△1,419	△186	△5,169	△175	△22,989	1,106	△21,883

(注) 1 調整額の内訳は以下のとおりです。

(単位:百万円)

利益	金額
セグメント間取引消去	△30
全社費用(注)	1,137
合計	1,106

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「船舶海洋」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しています。なお、当第2四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、3,916百万円です。

3. 2021年3月期 連結業績見通し補足資料

(1) 売上損益

(単位：億円)

報告セグメント	2021年3月期見通し						2020年3月期実績	
	今回		8月6日見通し		増減			
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
航空宇宙システム	4,000	△250	4,200	△210	△200	△40	5,325	427
エネルギー・環境プラント	2,400	85	2,400	60	—	25	2,429	175
精密機械・ロボット	2,200	100	2,000	70	200	30	2,173	122
船舶海洋	800	△30	800	△40	—	10	716	△6
車両	1,500	△20	1,500	△20	—	—	1,365	△38
モーターサイクル&エンジン	3,200	△50	2,800	△170	400	120	3,377	△19
その他	900	10	900	50	—	△40	1,024	12
調整額		△45		△40		△5		△53
合 計	15,000	△200	14,600	△300	400	100	16,413	620

(2) 受注高

(単位：億円)

報告セグメント	2021年3月期見通し			2020年3月期実績
	今回	8月6日見通し	増減	
航空宇宙システム	3,100	3,600	△500	4,149
エネルギー・環境プラント	2,300	2,800	△500	2,523
精密機械・ロボット	2,200	2,000	200	2,188
船舶海洋	1,000	1,200	△200	562
車両	700	700	—	1,257
モーターサイクル&エンジン	3,200	2,800	400	3,377
その他	900	900	—	1,075
合 計	13,400	14,000	△600	15,135

(注) モーターサイクル&エンジン事業については、主として見込み生産を行っていることから、受注高について売上高と同額として表示しています。

(3) ROIC(税引前)

(単位：%)

報告セグメント	2021年3月期見通し			2020年3月期実績
	今回	8月6日見通し	増減	
航空宇宙システム	△4.8	公表なし	公表なし	8.0
エネルギー・環境プラント	8.6			10.4
精密機械・ロボット	7.6			8.8
船舶海洋	△6.9			1.4
車両	△3.2			△7.2
モーターサイクル&エンジン	△5.3			△2.6
全 社	△2.2			4.2

(注) 1 2021年3月期見通し前提為替レート：106円/USD、123円/EUR

2 ROIC = EBIT(税引前利益 + 支払利息) ÷ 投下資本(有利子負債 + 自己資本)